

令和2年度

柔道同好会12月号

今年、新型コロナウイルス感染症の影響で練習もままならない状況でした。しかし、この状況下で、一人一人自分で何ができるのかを考える1年となりました。部員たちにも温度差があり、自粛期間中もコツコツとトレーニングに励む者とサボる者、自粛期間が明けて少ない練習日・練習時間を大切にする者としらない者。この差が生む、柔道の「道程」の距離差は、大きいものになりました。

2年生は昇段審査を経て、晴れて「講道館柔道初段」となりましたが、黒帯を締めることが「強さ」の証ではなく、「正しい道」を体現する証になっているのでしょうか。自分でできることをコツコツと継続する力、その積み重ねや当たり前のことを当たり前にできる力を柔道を通して学んでほしいです。それができるようになるのは生徒自分自身の力。できないようならそれは顧問の指導力不足なのでしょう。

新型コロナウイルス感染症の影響で、都内柔道合同合宿を始め、公開講座や合同練習会、中学生練習会などの多くが中止になってしまいました。そんな中で、マスク・軍手着用で練習に参加して頂いた、高校生・中学生、顧問の先生方、本当にありがとうございました。この場を借りて感謝申し上げます。

また、来年も豊島高校柔道部をよろしくお願いします。



12月29日(火)稽古納と大掃除をしました